

## 低形成腎

---

腎臓の大きさが、年齢や身長に対して小さな腎臓のことを言います。一般的には腹部超音波検査、腹部 CT 検査、腹部 MRI 検査などの画像検査で腎臓の大きさを評価することで診断されます。

低形成腎に特徴的な症状は乏しいですが、初期には尿を濃縮する機能が低下することが多いとされています。その場合、薄い尿が多く出るために、喉が乾いて多くの水分を飲む必要が出てきます。水分を多く取るために食事がとれず体重が増えにくい、年齢が大きくなっても夜尿が続く、水分が十分に取れない状況になると脱水症になりやすい、などの症状に対して精密検査を行った時に発見される場合があります。

診断は画像検査で行われますが、初期には、通常の尿定性検査では異常を認めない場合が多く、尿の精密検査（尿中β2MG、蛋白濃度など）や血液検査が必要となる場合があります。

現在のところ、低形成腎を完治させる治療はありません。脱水症や成長などの様子に注意しながら、腎機能をなるべく保存していく管理（慢性腎不全管理）が大切となります。長期的なフォローが必要ですので、主治医の先生としっかり相談しましょう。